

■ヤックス自然学校（株式会社千葉薬品 受託事業）

事業件数：59事業

稼働日数：143日

主な事業：

- ①年間通じて、子ども（幼児、小学生、中高生）対象の自然体験プログラム
- ②ファミリー対象の自然体験プログラム（キャンプ教室、お米作り体験、親子スキー）
- ③キャンプリーダートレーニング（NEALリーダー指導者養成含む）

年間参加者数：1,500人

参加者延べ：3,500人

リピーター率：50%

ヤックス自然学校会員数：450名

重点項目：

- ①企業の社会的責任の一環として、社会の動きを素早くキャッチし、安心安全で楽しい自然体験活動を継続的に実施
- ②ホームページやSNS（Facebook、Instagram、LINE）の各特性や機能を効果的に活用した集客と活動報告の充実
- ③減少傾向であるキャンプリーダーの募集に注力し、NEALリーダー養成事業の継続（資格取得）と将来、教職員を目指すキャンプリーダー（大学生）の人材育成
- ④四季折々の活動、地域文化・伝統との触れ合いを意識したアクティビティの展開

■事業部：受託事業

事業件数：30事業

主な事業：

- ①地域と連携した教育旅行の体験コーディネート
- ②教育旅行、企業研修、スポーツクラブ、生涯学習等におけるチームビルディングプログラムの提案
- ③企業のCSR等による体験活動支援（ヤックス自然学校、コスモ石油、ハウス食品、千葉テレビ等）
- ④県農林水産部農地・農村振興課 中山間ふるさと活性化チャレンジ事業の発展、継続

目標数値：会員校、ネットワークを活かした事業 10事業

重点項目：

会員校、ネットワークを活かした地域課題解決への取り組み

- ①指定管理施設及び古民家ろくすけとの連携による教育旅行、企業研修、CSR活動におけるプログラム展開の充実
- ②新たな需要に対応するための人材育成及び外部連携の推進
- ③専属スタッフの教育、人材育成、雇用

■事業部：南房総市大房岬自然の家（指定管理）

事業件数：主催事業 62事業

主な事業：

① 受け入れ事業目標数値：

利用者数25,000人、宿泊者数15,000人、団体数250団体

② SDGsプログラムの誘致と地域連携による受入れ

目標値15校 1,500名

③ 南房総市内小中学校の「南房総学」受入れ

重点項目：

① 次代を担う青少年教育施設のモデル像構築

② 地域内の事業者連携を活かしたSDGs教育旅行の受け入れ増

③ 地域の自然体験活動指導者の育成

■事業部：千葉県立大房岬自然公園（指定管理）

事業本数：主催事業43事業

主な事業：

① 「ファミリーキャンプ教室」

初心者家族向けのキャンプ講座

② 「岬のナイトツアー」

季節によってテーマを変えて実施するナイトツアー

③ 「岬レンジャー」

親子で大房岬を調べる、守る、伝える活動をする。

目標数値：キャンプ場利用張数3,560張

主催事業参加者数800人

重点項目：

① 大房岬の自然の特性を最大限に活用したプログラム運営

② 伐採、植樹といった次世代の森づくり

『単なる整備活動として行うのではなく、主催事業岬レンジャーの活動の一環として、またSDGsの森づくりの体験として行うことにより、学びの場・体験の場として多くの方と一緒に歩いていく』

③ 大房岬自然の家との連携を強化した運営体制の構築

『自然の家と連携をしてSDGs教育旅行の受け入れをはじめとした事業運営、公園の管理業務を行う。公園と自然の家の人員を連携して業務を行うことにより、これまで以上に効率的な運営体制の構築を目指す』

■事業部：千葉県立君津亀山青少年自然の家（指定管理）

事業件数：主催事業66事業

主な事業：

① 「ファミリー野遊び教室」海や川遊びなど野遊びをテーマに複数回実施

② 「ボランティア講座」高校生対象・一般対象 対象に合わせた講座を実施

③「6歳になったら机を作ろう」木こり体験と学習机を自分で作る体験

目標数値：利用者数32,000人 宿泊者数15,000人 団体数390団体

重点項目：

①満足度向上によるリピーター団体の増加（利用者満足度目標98.5%）

②持続可能な開発目標（SDGs）達成に向けたプログラム開発

『利用者向けの活動の中で周辺の森のフィールドを活かしたプログラム(未来のための森整備や野生動物をセンサーカメラで撮影する活動)を実施予定』

③集団・人間関係トレーニングの実践（きみかめアドベンチャープログラム）

■地域協働部：ちば・体験活動ネットワーク事業

主な事業：

① 会員校のFacebook（活動報告、活動案内）記事を当校のFacebookで随時シェア（共有）して、広く社会に情報発信していく。

② 会員校（27校）とエリア担当の情報交換、情報共有、協働事業が出来やすい環境を整える。そのために年一回の会員校まわりを理事長、エリア担当者が実施。

■北総エリア（12校）

担当者による定期的な会員校訪問（イベント・農作業手伝い）。

職員と北総会員校との接点づくり。

■上総エリア（7校）

情報発信ツール（千葉自然学校ニュースレター、フェイスブックなど）の紹介、並びに掲載したい内容をヒヤリングシートなど使用し募る。

各会員校・当団体、双方向に対して人材派遣、講師依頼、会場・備品使用、プログラム依頼、必要な情報の収集・提供など協議しながら必要に応じた相互協力を行う。

■南房総エリア（8校）

会員校の中でも連携先に偏りがある。研修会の開催などを通じて各会員校とコミュニケーションを図り、人材依頼、人材派遣、物品の貸し出しなど今後の相互協力をより強固なものとする。

③ 県内の体験活動団体、個人とのネットワーク拡大、拡充。

■千葉シニア自然大学

事業件数：主催 2コース

主な事業：第12期

①総合コース（16講座47単位）

ちばの里山里海の保全の活用を学ぶ（8講座26単位）

天文・宇宙・地球のしくみを学ぶ（7講座20単位）

体験活動講座（1講座1単位）

②自然と俳句コース（10回）

目標数値：受講者数 総合コース30名

自然と俳句コース若干名

重点項目：

- ① 受講者のより高い満足度を目指し、事務局の十分な準備と受講生同志の交流に配慮した運営を図る。
- ② 研修旅行等特別講座を実施する。
- ③ 卒業生の交流を活性化し、「古民家ろくすけ」での農業や「アートギャラリー」（蔵）を利用した活動を進めるとともに、それぞれの地域でのボランティア活動等に関わるができるよう支援する。

■地域協働部：古民家ろくすけ事業

主な事業：

- ① ヤックス自然学校主催ホームステイ・一般農泊、日帰り利用などの受け入れ
- ② フィルムコミッションや独自の広報による撮影利用
- ③ 生物生息環境の保全・菜園の維持管理
- ④ 地域産物の加工販売、郷土料理・加工体験の実施、カフェ開催
- ⑤ 平群ツーリズム協議会、「ろくすけの会」、シニア自然大学、地域団体等と連携した地域活動

目標数値：販売加工品（ジャム、クッキー、みそ、ろくすけもち）体験イベント：12回

重点項目：

- ① 古民家ろくすけの維持管理
- ② 撮影利用のホームページ、資料等の作成
- ③ 企画・運営・管理ができる人材の育成
- ④ 施設、菜園、周辺環境・生きもの生息環境の保全・整備
- ⑤ 地域・都市連携による地域の活性化
- ⑥ 地元学校教育との連携事業

■地域協働部：体験農園 IN 岩名

事業回数：24回 目標数値：25区画全て利用

主な事業：

- ① 作付け講習会・・・22回
- ② 勉強会（メンテナンス、病虫害対策）・・・2回

重点項目：

- ① 都市部の遊休農地を活用した「農」のある暮らしの提案
- ② 地域コミュニティの場作り
- ③ 継続のための運営方法の効率化